

レポート・論文作成講座[2] 準備編  
事例から「良いレポート」を書く方略を知ろう！

学修・研究支援センター 准教授  
森玲奈

今日の到達目標

- レポート・論文のための「問い」を立てることに慣れる。
- レポート・論文を書く具体的なプロセスに慣れる。

## 今後の予定

### ■第3回 執筆編

出典を示して文献を正しく「引用」しよう

①2018年12月3日(月) 16:30～18:00

②2018年12月5日(水) 16:30～18:00

### ■第4回:仕上編

文章と書式を整えてレポートを「仕上げ」よう

①2018年12月10日(月) 16:30～18:00

②2018年12月12日(水) 16:30～18:00

## 感想文とレポートの違い

感想文		レポート
感じたままに表現する	内容	「主張」とそれを支える「根拠」を述べる
書きたい順序で	構成	決まった形式に沿って
主観的・個人的に	視点	客観的・一般的に

参考:世界思想社編集部(編)(2008)大学生学びのハンドブック(3訂版).

## 「問う」ことの重要性

- 論文とは自分で問いを立てそれに答える文章のこと。
- 論文では、研究上の問いすなわちリサーチ・クエスチョン (research question) を明確に示すこと。
- 問いは、原則、疑問文を含む1文で示される必要がある。

## 「問い」を立てるポイント

- 問いは論証でき、答えが出せるものでなければなりません。
- 問いは自分で立てなければなりません。
- 問いは学術的価値があるものでなければなりません。

## 課題

(1)自分がこれから着手する研究について、何を対象にした研究か、テーマを明らかにしてください。過去のレポート課題を思い出して書いてもかまいません。

(2)自分の研究の問い(リサーチ・クエスチョン)を1文で表してください。

## 課題

(3)自分の研究の問いが、より具体的なものになるように問いを絞りこんでください。

(4)自分の研究の問いについて、そこで使われている専門用語の定義をしてください。

## レポートのルール

ルール①「主張」と「根拠」を示す

ルール②「序論」「本論」「結論」3章構成にする

ルール③「先行研究」をふまえる

ルール④決まった形式を守る

ルール① 「主張」と「根拠」を示す

大阪は外食文化が発達している。

## ルール① 「主張」と「根拠」を示す

総務省統計局の『統計でみる都道府県のすがた2014』によれば、大阪府の人口千人あたりの飲食店数は638店で、全国平均の524店を上回り、47都道府県中4位の数である。

## ルール② 3章構成で組み立てる

①序論:「どんな問題(問い)」について「どんな結論(主張)」を導くのかを予告する。



②本論:なぜその結論(主張)が導かれるのかを「根拠」を積み重ねて説明する。



③結論:積み重ねた根拠から、問題に対してどんな結論(主張)が導かれたのかをまとめる。

## ルール③「先行研究」をふまえる

- 先行研究をふまえたレポートにするため、本や論文から「引用」する。
- 他の人の文章は「」で括って区別する。引用が長くなる場合は、前後を一行空け引用文全体を2字下げて区別する。
- 元の文章と一字一句違ってはいけない。

適切な引用は、そのテーマについてよく調べたことの証拠になる。

→レポート評価UP！

## ルール③「先行研究」をふまえる

レポートでやってはいけないこと

-盗用・剽窃(ひょうせつ)

-捏造(ねつぞう)・改竄(かいざん)

## ルール④ 決まった形式を守る

- 指定された体裁を守る
    - 2000字程度→プラス・マイナス10%の範囲内
    - 400字づめ原稿用紙で4枚→4枚目半分程度以上
    - 横書き or 縦書き
    - 表紙の有無
    - 手書き or PC
- 指定を守らないと提出を受け付けてもらえないこともある。
- 最初に「表題(タイトル)」、最後に「参考文献」

## 今後の予定

### ■第3回 執筆編

出典を示して文献を正しく「引用」しよう

- ①2018年12月3日(月) 16:30~18:00
- ②2018年12月5日(水) 16:30~18:00

### ■第4回:仕上編

文章と書式を整えてレポートを「仕上げ」よう

- ①2018年12月10日(月) 16:30~18:00
- ②2018年12月12日(水) 16:30~18:00